

平成30年度第1回横浜市保健医療協議会会議録（要約版）	
日 時	平成30年8月24日（金）19時00分～20時27分
開催場所	ワークピア横浜 3F「かもめ・やまゆり」
出席者	石川ベンジャミン光一委員、鈴木野枝委員、伏見清秀委員、宮地英雄委員、伊丹昭委員、井上亮一委員、桜木美津子委員、杉山紀子委員、中野利彦委員、中村香織委員、新納憲司委員、水野恭一委員、八亀忠勝委員
欠席者	叶谷由佳委員、鶴本明久委員、宮城悦子委員、蟹澤多美江委員、佐伯彰委員、寺師三千彦委員、濱崎登代子委員
開催形態	公開（傍聴者2人）
議 題	<p>1 議題</p> <p>（1）会長・副会長の選出について</p> <p>（2）平成30年度病床整備事前協議について（医療局）</p> <p>2 報告</p> <p>（1）よこはま保健医療プラン2013の振返りについて（医療局）</p> <p>（2）よこはま保健医療プラン2018の策定について（医療局）</p> <p>（3）よこはま地域包括ケア計画（第7期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）の策定について（健康福祉局）</p> <p>（4）第2期健康横浜21中間評価報告について（健康福祉局）</p>
決定事項	<p>1 会長は伏見委員、副会長は水野委員とします。</p> <p>2 平成30年度病床整備事前協議の対象とします。</p> <p>3 病床整備検討部会の設置をします。</p>
議 事	<p>1 開会（事務局・局長あいさつ）</p> <p>2 議題</p> <p>（1）会長・副会長の選出について</p> <p>（事務局本間課長）議題（1）の会長・副会長の選出です。</p> <p>横浜市保健医療協議会運営要綱第5条では、協議会に会長及び副会長をそれぞれ1人置くということになっており、会長は委員の互選により定めることとなっています。ご推薦はありますか。</p> <p>（新納委員）伏見委員にお願いしたいです。</p> <p>（事務局本間課長）伏見委員とのご推薦がありましたが、委員の皆様、いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">〔一同了承〕</p> <p>（事務局本間課長）それでは、伏見委員に会長をお願いしたいと思います。</p> <p>これからの進行は、伏見会長にお願いいたします。</p> <p>（伏見会長）〔就任の挨拶〕</p> <p>当協議会の要綱第5条第2項によりますと、副会長は会長が指名することとなっ</p>

ていますので、引き続き横浜市医師会会長の水野委員にお願いしたいと思います。
水野委員、いかがでしょうか。

(水野委員) わかりました。

(伏見会長) それでは水野委員、よろしくお願いたします。

(2) 平成30年度病床整備事前協議について (医療局)

(事務局川崎課長) 議題 (2) について説明

(伏見会長) 平成30年度病床整備事前協議における横浜市の考え方、実施方法について事務局案が示されましたが、ご質問・ご意見等がありますか。

(水野副会長) 地域における医療需要について、今、横浜市では医療圏が1つになってしまっていますが、その中で地域における医療需要というものを、どういうことを根拠に、どのくらいの範囲で決めるのか。また、今年、855床を全部配布するのか、この2点を確認させていただきたいです。

(事務局川崎課長) 特定の地域に集中することは望ましくないという意見があるので、一定程度は地域性を考慮しながら、ということになりますが、基本的には医療圏が1つになったので、市域全体で考えていきたいです。855床をすべて配るのかについては、総合的な評価の中で考慮していきたいです。

(水野副会長) 評価に達しなければ配らないこともあるという認識ですか。

(事務局川崎課長) そのように考えています。

(水野副会長) 横浜の一番の問題は急性期病床が多いこと。転換するために基金がありますが、全く進んでいません。そのような中で不足する慢性期・回復期病床をどのように配分するのか。現在、急性期病床が多過ぎる地域に作ると、今後、急性期が身動きを取れなくなってしまうということも念頭に入れながら、地域というものを考えていってほしいと要望します。

(事務局原部長) 横浜市は、高度急性期、急性期の病床が多めにあり、回復期や慢性期の病床が少ないという事情があるので、これらの機能を持つ病床に配分したいと考えています。

(新納委員) 医療圏を1つにしても、我々病院協会が全部を把握することはできないので、7つのエリアにわけて検討会を行い、医療状況を聞いていますが、最終的には横浜市全体を1つの医療圏として、急性期、回復期、慢性期などのことを考えていきたいです。

(伏見会長) ほかにご意見・ご質問はありますか。

(委員) 意見なし

(伏見会長) 横浜地域では4月1日時点で既存病床数が基準病床数を下回っているため、当協議会としては、平成30年度は病床整備事前協議の対象とするべきであるという意見を横浜市長へ報告することにいたします。

さらに病床整備検討部会の設置が必要というわけですが、これに関して事務局か

らの提案はありますか。

(事務局川崎課長) 当協議会の運営要綱第7条第2項及び第4項において、部会の部会長及び構成員については会長が指名する者をもって組織することとされています。会長と相談の上、関係団体の代表者や有識者など、部会長を含め7名程度で組織したいと考えていますが、いかがでしょうか。

(新納委員) 部会の構成員はどのような分野の先生方を考えていますか。

(事務局川崎課長) 横浜市病院協会、横浜市医師会などの代表者のほか、医療管理学や公認会計士の先生を考えています。

(伏見会長) それでは選任させていただいた方の了承が得られましたら、別途書面でご報告いたします。

3 報告

(1) よこはま保健医療プラン2013の振返りについて (医療局)

(2) よこはま保健医療プラン2018の策定について (医療局)

(事務局本間課長) 報告(1)(2)について説明

(伏見会長) 事務局からの説明について、ご意見・ご質問等ありますか。

(宮地委員) よこはま保健医療プラン2013の振返りについて、精神疾患の評価がCになっていますが、警察官通報受理から診察開始までに要した時間とは、通報が横浜で発生した事例で、受診は横浜市だけではない、ということでもよろしいですか。

(事務局白川理事) 通報を受けたのは横浜市で、最終的に受け入れる病院は県下全域なので、そちらまでの時間とご理解いただければと思います。

(伏見会長) ほかにご質問はありますか。

(委員) 意見なし

(3) よこはま地域包括ケア計画(第7期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画)の策定について(健康福祉局)

(事務局佐藤課長) 報告(3)について説明

(伏見会長) 事務局からの説明について、ご意見・ご質問等ありますか。

(新納委員) 地域包括ケアシステムには病院が含まれるはずですが、病院という記載がないのはどういうことでしょうか。病院協会や病院関係者に対して相談もなく、医療と介護の連携というのはおかしいのではないのでしょうか。

(事務局佐藤課長) 概要版の11ページに医療と介護の連携強化について記載しました。病院は医療に含まれるとご理解いただきたいと思います。実際に介護と医療の連携を進めるにあたっては、ご協力をいただきながら進めていくこととなりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

(水野副会長) 連携に関して、病院に何を期待しているのかわからないので、もっと具体的に考えなければいけないと思います。

また、第7期計画策定の報告の前に、第6期計画の総括を説明するべきだと思います。

(事務局佐藤課長) 前の3年間の第6期計画の振り返りについては、ただいま準備をしており、介護保険運営協議会でご報告をする予定です。

(水野副会長) 概要版の20ページに介護サービス利用者数の見込みが書かれてあるのに対し、それを実現するための必要人材数が一切書かれていません。介護サービスに関与する看護師及び介護職は、少しずつ増えていますが、全然足りません。現状としてこれだけのサービスを提供するのに、一体どのくらいの人数がいなければいけないのかということも、表に出さなければ全く理解されないのではないのでしょうか。

(事務局佐藤課長) 介護人材が不足している現状については、我々も非常に大きな課題だと認識しており、横浜市としても2025年までに8500人くらいの介護人材不足が見込まれています。したがって、そのギャップを埋めるために、様々な手段を使いながら介護人材の確保に向けて努力していく予定です。

(水野副会長) 新しいものをつくれれば、必ずそこに人が必要になります。そうではなくて、既存の人数で、いいサービスが提供できるようなやり方を考えないと、無駄なことが多くなってくるのではないのかという感じが現場ではしているので、そこを調整するのが行政の仕事ではないのでしょうか。

(事務局佐藤課長) せっかくサービスを掲げた、看板を掲げた事業所があっても、そこに働く人がいなければ全く意味のないことなので、そのような状況が起きないように、工夫の図れるものがあれば、積極的に取り組みたいと思います。

(伏見会長) ほかによろしいですか。

(委員) 意見なし

(4) 第2期健康横浜21中間評価報告について (健康福祉局)

(事務局藤原部長) 報告(4)について説明

(伏見会長) 事務局の説明について質問等ありましたらお願いいたします。

(水野副会長) 中間報告でいろいろと成果が出ていますが、このようなもので今後の施策に生かしたものはありますか。あるいは、そうした施策に対しての議論や討論はありますか。

(事務局藤原部長) 健康福祉局だけでなく、医療局、子ども青少年局、教育委員会など、関係の部署と定期的に健康横浜21の推進に関して、関係の課長会等をやっており、成果が出た数値について協議をし、その後の取り組みで、さらにどういったところに重点を絞っていくか、対象をどのように広げていくか、広報もどうすれば広がっていくか、そういったところにはつなげています。

(水野副会長) この中間報告で健康寿命は延びています。では、健康寿命が延びるということを何か施策に利用することはないのですか。

	<p>(事務局藤原部長) 介護予防やオーラルフレイルの予防、ロコモティブシンドロームの予防を進めることによって、介護が必要でない期間を延ばしていくことはとても大事なので、高齢部等とも連絡をとりながら、実際の取り組みの中身を充実させていきます。</p> <p>(水野副会長) 健康寿命が延びること、健康を維持することで、どのくらい必要な介護従事者が減るか、またどのくらい市の財政状況が改善されるか等のデータを、推計として出すべきではないでしょうか。</p> <p>(事務局藤原部長) 現在、横浜市大の協力により、よこはま健康アクションの結果が、どのくらい医療費の削減効果につながったのか、というデータ分析を進めているところです。ある程度まとまったら、ご報告したいと思います。ただ、この事業をやったことによって、健康寿命が何歳延びるのか、という推計までは、いろいろな要素が絡んでいるので、難しいところがあります。</p> <p>(伏見会長) このパンフレットはどこかで配布しているのですか。</p> <p>(事務局藤原部長) 既に市民の皆様にも配布しており、いろいろな関係団体にもこの施策を進めていくためにご協力いただいています。</p> <p>(伏見会長) ほかにはよろしいでしょうか。</p> <p>(委員) 意見なし</p> <p>4 その他</p> <p>(事務局本間課長) 次回の保健医療協議会の開催ですが、病床整備検討部会の設置、公募、配分案の検討を経て、来年2月ごろに開催させていただく予定です。</p> <p>5 閉会</p> <p>(伏見会長) [閉会の挨拶]</p>
<p>資 料</p> <p>・</p> <p>特記事項</p>	<p>1 資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 : 横浜市保健医療協議会運営要綱 ・資料2 : 平成30年度病床整備事前協議について ・資料3 : よこはま保健医療プラン2013の振返りについて ・資料4 : よこはま保健医療プラン2018 ・資料5 : よこはま地域包括ケア計画 (第7期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画) ・資料6 : 第2期健康横浜21中間評価報告書 ・資料7 : よこはま健康アクション Stage 2 ・参考資料1 : 横浜市の保有する情報の公開に関する条例 (一部抜粋) <p>2 特記事項</p> <p>次回は来年2月ごろに開催予定</p>